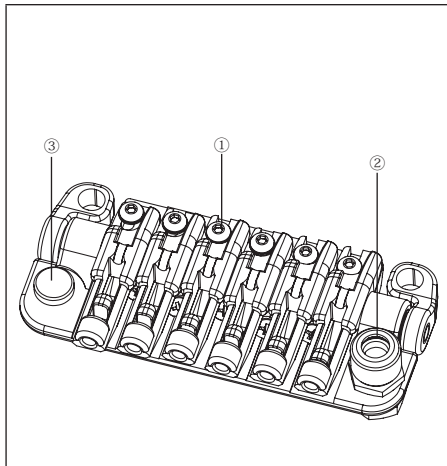


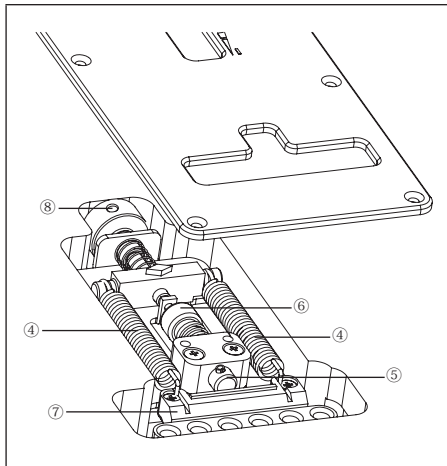
# SynchroniZR (シンクロナイザー)

## ■ 正面



- ① サドル・ロック・ボルト
- ② アームソケット
- ③ イントネーション調整ボルト

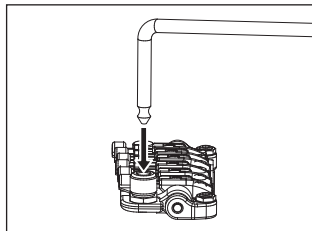
## ■ 背面



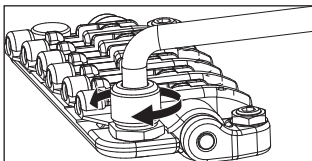
- ④ トレモロ・スプリング
- ⑤ アームアップ・ストッパー
- ⑥ アームアップ・ストッパー・ノブ
- ⑦ トレモロ・ブロック
- ⑧ スプリング調整ノブ

## トレモロアームの取り付け

1. トレモロアームは挿し込み式です。  
ベースプレートのアームソケットに、トレモロアームのコーナー部分を持って、カチッと音がするまで確実に挿し込みます。



2. トレモロアームの締め付けは、トルク調整キャップで調整します。  
時計方向に回すと締め付けが増し、逆に回すと締め付けが緩くなります。



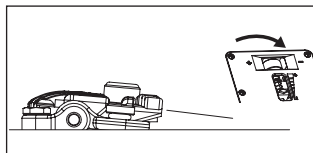
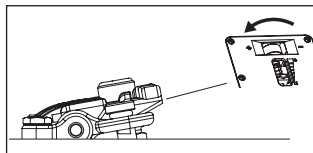
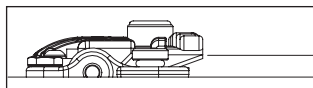
JP

## トレモロの取り付け角度調整

トレモロの取り付け角度は、弦の張力とギターの本体裏側に装着されたトレモロ・スプリングの張力とのバランスで調整します。トレモロがギターの本体表面とおおよそ平行になるように調整する事で、最も優れた性能を発揮します。

1. 正しくチューニングした状態で、トレモロの傾きを確認します。
2. トレモロが前方へ傾いている場合は、本体裏側のスプリング調整ノブをプラス方向に回してトレモロ・スプリングの張力を強くします。
3. トレモロが後方へ傾いている場合は、スプリング調整ノブをマイナス方向に回してトレモロ・スプリングの張力を弱めます。

※ フローティング状態でのトレモロの角度調整は、トレモロ・スプリングの張力を調整するたびに弦とスプリングとの張力バランスが変化するため、チューニングに影響を及ぼします。チューニングを繰り返しながら調整してください。

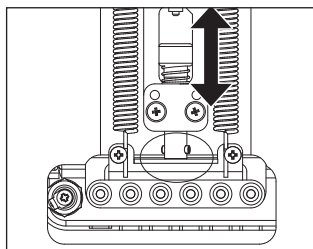


## アーム・アップ・ストッパー

SynchroniZRは、アーム・アップ・ストッパー機能を備えています。アーム・アップ側を固定することで、フローティング状態を解除します。

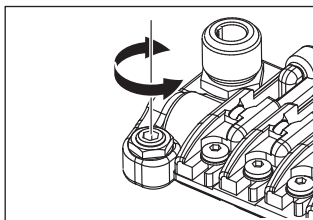
1. トレモロがギターの本体表面とおおよそ平行に調整されている事を確認します。
2. トレモロ・スプリング・カバーを外し、アーム・アップ・ストッパー・ノブを回して、アーム・アップ・ストッパーの先端がトレモロ・ブロックに接するように調整します。
3. トレモロがギターの本体表面とおおよそ平行になっていることを再度確認し、スプリング調整ノブをプラス方向に数回転させます。

※ トレモロ・スプリングの張力が弱いと、トレモロ・ブロックが弦に引っ張られてチューニングが安定しないことがあります。チューニングの際にそのような症状が見られる場合は、スプリング調整ノブをさらにプラス方向に回してください。



## 弦高調整

トレモロ本体左右のスタッドボルトを六角レンチ(3mm)で回して、トレモロ全体の高さを動かして弦高を調整します(各弦ごとの調整は行えません)。

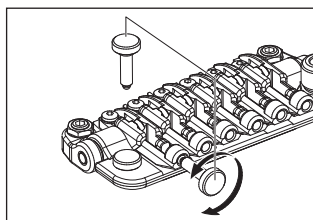


JP



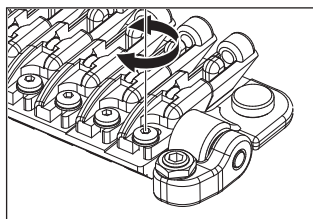
## イントネーション調整

1. トレモロ本体に収納されているイントネーション調整ボルトを取り外し、サドル後部の調整穴にボルトの先端がトレモロ本体の壁に接触するまで締め込みます。



2. サドル・ロック・ボルトを六角レンチ(2mm)で緩め、イントネーション調整ボルトを回してサドル位置を調整します。

※ イントネーションの確認は、サドル・ロック・ボルトがしっかりと締まった状態で、正しいチューニングで行ってください。調整が終わりましたら、サドル・ロック・ボルトとロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締め、イントネーション調整ボルトをトレモロ本体に収めてください。



## 弦交換

弦をギターの本体裏側から、トレモロ・ブロックを通して取り付けます。

